

GM

ガバナー月信

Rotary
District 2710



2024.05

Governor's Monthly Letter vol.11



【ガバナー信条】
平和の種をまこう!!
〜ロータリアンにできること〜

Contents

ガバナーメッセージ/今号の表紙写真	2	RYLA開催報告	6
青少年奉仕月間に寄せて	3	ガバナー予定者決定のお知らせ/新会員紹介	7
平和フェロー交流会報告	4	会員増減・出席率/地区大会予告広告	
会長エレクト&地区チーム研修セミナー報告	5		

2023-24 ROTARY INTERNATIONAL District 2710



Intercity Meeting (インターシティミーティング) から何がえられるか

国際ロータリー第2710地区 2023-24年度ガバナー 井内 康輝



国際ロータリー第2710地区は、広島県と山口県の72クラブから構成されていますが、これらは12グループに分けられ、それぞれガバナー補佐がおられて運営されています。こうしたグループ単位で年1回行われるのがインターシティミーティング(IM)ですが、必ずしも言葉通り都市間交流のために行われる形はとっていません。地区には3,200名余りの会員がおられ、年に1度、ガバナー主催で地区大会が行われますが、地区大会の中で、各クラブ単位で、あるいはおひとりおひとりのメンバー同志での交流をはかるプログラム構成は、時間的制約の中では困難です。これを補うために、ガバナー補佐の主催でグループ毎に集会を開くのがIMと位置づけられています。すなわちIMの目的はグループ内の5ないし7つのクラブのメンバーが顔を合わせ、言葉を交わし、交友を深めることが第一でしょう。加えて、各クラブ単位で行われている奉仕事業についての情報交換をすることによって、よいアイデアの交換ができたり、可能ならばいくつかのクラブで共同した奉仕活動に発展させることができれば、IMはその役割を果たしたといえるでしょう。

さらに、ガバナーの立場からみると、その年度のRI会長のテーマ(2023-24年度、“Create Hope in the world 世界に希望を生みだそう”)や、ガバナー信条(2023-24年度、“平和の種をまこう!! ~ロータリアンにできること~”)が地区内にどれほど浸透し、各クラブでの奉仕活動に反映されているか、

を知る機会となります。

今年度のIMは2024年2月3日(土)グループ2のIMから始まり、4月6日(土)グループ12のIMまで、10回開催されました(グループ6、7とグループ10、11は共同開催ですので、12グループで10回となります)。私が見る限り、今年度のIMは極めて充実した内容であったと感じています。“平和”をテーマとした講演として、“哲学からみた平和”、ウクライナ人による“ウクライナの現状報告”、“第二次大戦中の報道の反省”、“戦場カメラマンの報告”、駐日ジョージア大使による“ロシアによる侵略”、“仏教からみる平和”、“平和と教育”などが提供され、いずれも心に残る講演でした。さらにこれに加えて、パネルディスカッションの形で、各クラブの奉仕活動などが発表され、情報交換のよい機会となりました。その後の懇親会では私も各グループのメンバーの方々と親しく話をする機会をえて、楽しい時間を過ごしました。

IMは、日本全体でみると、全ての地区で行われている訳ではありませんし、私が全ての内容を知っている訳ではありませんが、実施している場合は同じ形での集会が行なわれているのではないかと思います。しかし、2710地区での今年度のIMは前述したその目的が明確で、参加されたロータリアンの満足度の高いものであると確信しており、今後とも継続して開催する意義は大きいと考えます。

今号の表紙：平和の鐘

毎年8月6日の広島平和記念式典で黙祷時に点打される鐘で、広島平和記念公園内に設置されていますが、1947年(昭和22年)8月6日第1回広島平和祭(現在では平和祈念式典とよばれます)で初めて鳴らされました。この鐘の音を、広島から世界のすみずみまで響き渡らせ、原爆で亡くなられた人々の核兵器廃絶、恒久平和の願いを全人類の一人ひとりの心にしみわたらせることを願って作製されました。鐘の表面には「世界は一つ」を象徴する、国境のない世界地図がレリーフで表されています。



青少年奉仕月間に寄せて

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度青少年奉仕委員会 委員長

川村 勝彦



奉仕の第5部門である青少年奉仕では、リーダーシップ養成、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む青少年の交換プログラムを通じ、青少年や若者に好ましい変化をもたらされることなどを期待して、具体的には、以下の4つのプログラムが展開されています。

1. インターアクト活動 (Interact)
2. ローターアクト活動 (Rotaract)
3. RYLA (Rotary Youth Leadership Awards) : 青少年指導者養成プログラム
4. 青少年交換プログラム

これらのプログラムは、青少年の成長と社会貢献を促進するために大切な活動となっています。

青少年奉仕月間は、国際ロータリーの取り組みの一環で、毎年5月に実施され、ロータリーの行う青少年奉仕のプログラム活動に焦点を当てる月間です。

青少年の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来の立役者となってもらうため、ロータリーの“奉仕の理念”を浸透させることを目的としています。

第2710地区2023-24年度 青少年奉仕委員会は以下の基本方針を掲げ取り組みをすすめています。

基本方針は以下の通りです。

1. 2023-24年度RI会長のテーマと井内ガバナーの信条「世界に希望を生み出そう」と「平和の種をまこう!! ~ロータリアンにできること~」を踏まえ、国際的な視野をもつ青少年の育成を目標に各委員会がそれぞれの役割を認識し活動して参ります。
2. コロナ禍で、様々な活動が制限され中止となりましたが、各委員会は「RE START」としてそれぞれの活動の原点に戻り、内容を精査し活動再開を目指します。
3. 「インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換」のそれぞれの計画が円滑に推進できるよう、各委員会が連携を図り適切な支援を行います。

各委員会の活動については、RYLA以外の3委員会は、青少年奉仕委員会の下に各担当委員会が存在し、それぞれの委員会で計画がすすみ、運営されています。ロータリー青少年指導者養成プログラムRYLAについては、第2710地区では委員会が存在しませんが、今年度は井内ガバナーが「本来のRYLAとは何かを考え、どうあるべきか」を考えて計画され、3月15日(金)~17日(日)の2泊3日で、国立江田島青少年交流の家を会場として開催いたしました。日本でのRYLAのリーダーであるRYLA顧問(R財団管理委員)の三木明氏、2680地区ガバナー安行 英文氏をお迎えしてご講演いただき、討論のファシリテーターには広島経済大学教授の北野 尚人先生にお願いして、「青少年は平和達成のために何ができるか」テーマに、青少年の受講生だけでなく我々ロータリアンもともに学ぶことができました。

ローターアクト委員会においては、2022年7月よりRI理事会の方針によりロータリアンと同様にローターアクトは人頭分担金を支払う義務が生じましたが、一方でこれによりロータリアンと同等に様々な権利が得られるようになりました。第2710地区では、2024-25年度からローターアクト委員会が青少年奉仕委員会から独立した委員会となり、ローターアクトのメンバーも地区の委員会の構成員となることとなり、積極的な活動が期待されます。しかしながら、多くのクラブで会員数の減少に悩んでいる現状もあり、ローターアクトクラブへの支援を積極的に行っていく必要があると思われます。

こうした月間にあたって、各クラブや委員会において様々な活動や行事について例年行っているものを慣例的に消化するだけでなく、各プログラムが本来の意義や目的をはたしているかを検討し、内容をつねに見直していくことが求められていると思います。

平和フェロー交流会報告

国際ロータリー第2710地区 2023-24年度ガバナー 井内 康輝



ロータリーの究極の目的が世界平和にあるという観点から、世界の7つの大学（チュラロンコン大学、バンコク、デューク大学／ノースカロライナ大学、アメリカ、ブラッドフォード大学、イギリス、クイーンズランド大学、オーストラリア、マケレレ大学、ウガンダ、ウブサラ大学、スウェーデン、国際基督教大学、東京）で、世界平和と開発の担い手となる人材の育成を行うのが、ロータリー平和センターです。2002年に創設されて以来、これまでに1,700人以上のフェローを輩出し、これらのフェローは世界の140カ国以上の政府、NGO、教育・研究機関、平和維持機関などで活躍しています。プログラムには、修士号取得プログラム（15-24ヶ月、年に50名）と専門能力開発修了証プログラム（12ヶ月、年に80名）があり、さまざまな国の出身の多様な経歴の人達が、ロータリー財団から授与された奨学金で学んでいます。

今年度も、国際基督教大学（ICU）で学ぶ修士課程1年生8名のフェローが、新垣教授と職員とともに、2024年3月8日に来広し、平和記念資料館の見学などの平和学習や広島平和文化センター理事長、香川剛廣氏の講演を聞くとともに、国際ロータリー第2710地区のロータリアンとの交流会をもちました。

フェロー8名を出身国別にみると、アメリカ4名（男性1名、女性3名）、カナダ／アフガニスタン1名（女性）、リベリア1名（男性）、ポーランド1名（男性）です。それぞれの研究テーマを紹介すると、①アフリカの農業プログラムの支援、

②米国とメキシコ国境における人の移動、③アフガニスタンの少女達のための教育、④留学プログラムの推進、⑤紛争後の国々における平和定着、⑥持続可能な開発の役割、⑦難民に対する認識に影響を与える要因の分析、⑧EUとASEANにおける難民危機への対応に関する比較研究、となります。いずれも今日的に重要な課題であり、研究の進展とともに彼らの今後の活躍に期待したいところです。

全てのフェローが今回の広島への研修旅行を楽しみにしていたと述べ、資料館などで大きな印象を受けたことを語ってくれました。こうしたフェローの成長に、広島の経験が大いに役立っていることを嬉しく思うと同時に、我々が果たすべき役割を再認識したところです。





会長エレクト& 地区チーム研修セミナー報告

国際ロータリー第2710地区 ガバナーエレクト

上田 文雄



2024-25年度会長エレクト&地区チーム研修セミナーは2024年3月10日にホテルグランヴィア広島で開催されました。

「次年度RI会長のテーマと地区運営方針」について説明を行いました。ステファニー・アーチック次年度RI会長のテーマは「ロータリーのマジック」です。会長は、重点事項として、「行動計画」を実行し、平和のために「分断を癒す」、「クラブ文化の見直し」、変化を起こすために一人ひとりが「ロータリーのマジック」を実践することを訴えられました。

ガバナー信条は、「行動しよう 未来のために」(変革に取り組もう)です。重点事項としては、①「クラブ文化を見直そう」多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) への取り組みです。これを、誰でも (D)、笑顔で (E)、居心地が良い (I) と捉えて、より良いクラブにしてほしいと思います。②「奉仕活動に取り組もう」奉仕活動をより活発化させるきっかけとして、RIの重点分野の環境分野に注目し、家庭や会社(職業奉仕)やクラブでの取り組みを検討願います。

基調講演は、2023-24RIラーニングファシリテーターの中川基成様から、「魅力あるクラブづくりを目指して」と題して、講演していただきました。テーマ別研修は、各委員会4名のカウンセラーの皆様に講演いただきました。その後、会長エレクト部門と地区チーム研修部門に分かれて研修等を行いました。

私より次年度の重点実施事項として、RI理事会の決定に基づくクラブ3か年計画の作成、クラブ文化の見直し、奉仕活動計画の作成、My Rotaryへの全員登録及び地区研修・協議会参加対象者全員のラーニングセンター受講、ガバナー月信のメール配信への変更への取り組み等について説明しました。なお、米山奨学生の選考について、推薦基準、選考基準等の変更により、今年度新規採用17名中1か国最大5名で8か国の架け橋にふさわしい人ばかりを採用することができたことを報告しました。

当日は多くの方にお集まりいただき大変有意義なセミナーとすることができました。大変ありがとうございました。





RYLA開催報告

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度RYLA実行委員長
広島南RC

竹内 徳将



「青少年は平和達成のために何ができるか」をテーマに、2024年3月15日金曜日から2泊3日、広島県江田島市国立江田島青少年交流の家に於いて、若者、ロータリアン、スタッフ総勢80名近くが集い、RYLAを開催致しました。

RYLA (Rotary Youth Leadership Awards) とは、1971年に国際ロータリーによって正式に採用された常設プログラムであり、ロータリーが若者を尊重し、かつ若者に関心を抱いていることを明らかにするものです。

初日は開会式の後、三木明全国RYLA研究会顧問による特別講演、安行英文RI第2680地区ガバナーによる基調講演に続き、北野尚人広島経済大学教授によるセッションが始まりました。RYLAの指導者はいわゆる“講師”ではないので、“権威”や“お説教”によって受講生を教え導くものではありません。ともに活動し、観察し、援助する人です。プログラムは参加者の広範で多様な欲求や課題に応えるものとなるよう、セッションは3日間に亘って双方向で行われました。テーマとしては、今年度の地区目標である“平和”をとりあげ、青少年として何ができるかを自由に話し合っていました。討論は成果を求めるものではなく、自発的で活発な発言による討論が行われ、他者の

意見を尊重し、傾聴する態度が見られました。

交流、親睦を深めるために、ディスクゴルフなどのレクリエーションや、カプラ、キャンドルの集いといった、交流会も準備しました。RYLAは1959年、オーストラリアのクイーンズランドにおいて、ビクトリア王女の訪問を記念して地元青年たちによって行われた行事が始まりとされます。そのセミナーは、選ばれた若いリーダーおよびリーダーとなる素質のある若者に研修を経験してもらい、責任ある有能なリーダーとなるよう激励します。方法は、組織キャンプにグループワークを取り入れたものになります。めざすのは、参加した皆さんの全人的な成長・発達です。

RYLAをすすめるためには、いくつかの要素が必要です。ひとつは、実施する環境です。環境のよい場所で、よき指導者の管理のもと、共同生活、グループ生活を体験する場が設定されます。今回は、環境として江田島の青少年交流の家を選びました。参加者のみなさんに共同生活を送っていただき、グループワークをすすめていただくに適した場所となったと思います。こうしたやり方のRYLAセミナーが今後、地区の中で定着し、若い世代とロータリアンがともに行動できるロータリーを作っていければと考えています。





宇部ロータリークラブ
わき かずや
脇 和也

国際ロータリー第2710地区 2026-27年度ガバナー予定者決定のお知らせ

2024年3月26日、当地区ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第12条12.030.4により2026-27年度ガバナー候補者として脇 和也氏（宇部RC）を推薦し、その旨細則第12条12.030.5により地区内会員に公表致しました。

その後、2週間の期限までに対抗候補者の推薦がございませんでしたので、細則第12条12.030.10により脇 和也氏を国際ロータリー第2710地区2026-27年度ガバナー予定者として決定致しましたことをご通知申し上げます。

2026-27年度ガバナー候補者 略歴

〔所属クラブ〕 宇部ロータリークラブ

〔生年月日〕 1952年12月9日

〔職業分類〕 新聞発行

〔学歴〕 明治大学政治経済学部卒

〔職歴〕 1975年4月 株式会社 宇部時報社 入社

2004年3月 株式会社 宇部日報社 代表取締役専務

2009年4月 // 社長

2023年4月 // 取締役会長

〔主 公 職〕 宇部商工会議所常議員

宇部市市史編纂委員長

宇部ユネスコ協会顧問

〔ロータリー歴〕

1997年3月27日 宇部ロータリークラブ入会

2004-05年度 宇部ロータリークラブ幹事

2008-09年度 宇部ロータリークラブ会長

2013-14年度 グループ2ガバナー補佐

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（PHF+1）

第1回米山功労者

《 国際ロータリー第2710地区 新会員紹介 》



青木 裕二
下関
2024年3月4日
電力供給



北島 孝俊
下関西
2024年3月14日
生命保険



野間 則徳
下関西
2024年4月3日
歯科医



道山 智成
下関西
2024年4月3日
弁護士



櫻井 剛
下関西
2024年4月3日
管工事



神徳 一也
防府
2024年1月15日
病院



田中 宏明
防府
2024年1月15日
設計士



渡部 博文
山口
2024年3月6日
プロサッカーチーム



金子 賢二
山口南
2024年4月5日
建設



高橋 裕和
周南西
2024年1月16日
電気工事



天羽 亮介
岩国
2024年4月4日
公認会計士



中嶋 羊治
岩国
2024年4月4日
金融【商業銀行】



西村 拓
岩国
2024年4月4日
金融【外国為替銀行】



山本 雅音
広島中央
2024年3月4日
貿易



大本 一城
広島東南
2024年3月11日
総合建設



菅野 博文
広島東南
2024年3月4日
リビング用品卸商社



渡辺 勇作
広島西
2024年2月8日
土木建設業



岡田 全弘
松永
2024年3月4日
税理士



楨原 由和
松永
2024年2月26日
スーパーマーケット



レフオック トウアン ナム
松永
2024年2月26日
人材派遣業

《 国際ロータリー第2710地区 2023-24年度会員増減・出席率 (2024年3月度) 》

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	本年度 入会 退会		
1	長門	94.93	21	22	3	2	1
	下関	69.56	45	43	2	3	5
	下関中央	74.96	40	44	6	4	0
	下関東	75.67	62	64	5	2	0
	下関北	73.51	65	58	5	1	8
	下関西	86.90	31	31	1	2	2
計	79.26	264	262	22	14	16	
2	萩	98.08	49	45	3	1	5
	萩東	96.66	24	26	1	3	1
	美祿	81.92	19	19	1	2	2
	小野田	83.40	33	34	2	1	0
	宇部	92.38	43	40	3	1	4
	宇部東	74.66	10	10	1	0	0
	宇部西	88.95	50	53	5	3	0
計	88.01	228	227	16	11	12	
3	防府	85.89	50	53	1	6	3
	防府北	91.62	22	25	4	5	2
	防府南	80.52	45	46	9	2	1
	山口	88.99	40	44	5	8	4
	山口県央	88.80	26	26	1	2	2
	山口南	93.62	40	39	8	3	4
計	88.24	223	233	28	26	16	
4	光	75.19	51	55	3	5	1
	周南西	82.09	57	56	6	5	6
	徳山	98.83	44	39	2	1	6
	徳山セントラル	75.00	22	22	2	0	0
	徳山東	100.00	43	41	1	1	3
計	86.22	217	213	14	12	16	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	本年度 入会 退会		
5	岩国	78.77	62	63	0	6	5
	岩国中央	84.74	40	38	6	1	3
	岩国西	86.88	59	60	5	3	2
	柳井	100.00	28	27	2	2	3
	柳井西	94.24	25	27	7	3	1
	計	88.93	214	215	20	15	14
6	広島	98.66	113	123	2	22	12
	広島安芸	98.20	41	40	3	1	2
	広島安佐	87.48	17	17	1	1	1
	広島東	96.56	108	111	11	10	7
	広島北	93.06	104	102	0	3	5
	広島陵北	92.26	48	47	2	1	2
	大竹	84.42	27	26	0	1	2
計	92.95	458	466	19	39	31	
7	広島中央	100.00	72	72	6	2	2
	広島廿日市	93.02	20	25	2	5	0
	広島城南	99.38	40	41	3	1	0
	広島南	100.00	87	85	0	2	4
	広島東南	100.00	93	97	12	10	6
	広島西南	96.07	63	63	1	5	5
	広島西	99.40	89	91	5	2	0
計	98.27	464	474	29	27	17	
8	江田島	90.71	18	18	0	0	0
	東広島	82.66	22	23	2	1	0
	東広島21	83.12	16	17	4	2	1
	呉	85.93	73	70	3	3	6
	呉東	81.48	32	30	2	0	2
	呉南	88.16	56	54	2	1	3
	西条	97.87	38	39	2	3	2
計	87.13	255	251	15	10	14	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	本年度 入会 退会		
9	広島空港	79.46	28	28	2	0	0
	因島	98.67	16	17	0	2	1
	三原	90.86	49	51	0	4	2
	尾道	73.03	80	74	3	0	6
	尾道東	90.80	49	49	7	1	1
	竹原	78.85	11	11	2	1	1
計	85.28	233	230	14	8	11	
10	府中	94.65	17	14	2	0	3
	福山	91.91	86	84	2	6	8
	福山東	74.75	42	40	3	0	2
	福山丸之内	88.49	29	27	1	3	5
	鞆の浦	84.22	21	20	0	0	1
	福山REC2710※	98.77	8	9	1	2	1
	計	88.80	203	194	9	11	20
11	福山赤坂	70.17	52	52	4	1	1
	福山北	95.08	30	31	2	1	0
	福山南	75.75	56	56	2	3	3
	福山西	86.76	36	40	5	6	2
	松永	89.95	49	55	4	6	0
	計	83.54	223	234	17	17	6
12	吉舎	85.46	10	10	0	0	0
	三次	79.29	38	41	2	4	1
	三次中央	91.47	34	36	5	2	0
	庄原	94.59	37	29	3	0	8
	東城	77.98	14	13	1	0	1
計	85.76	133	129	11	6	10	
第2710地区計	87.47	3115	3128	214	196	183	

※正式名称 [福山ロータリーEクラブ2710]
 ※システムの都合上、平均出席率は暫定的な数字となっております。

2024-25年度 国際ロータリー第2710地区

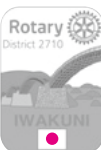
地区大会 in 岩国

2024. 10/25 [金]・26 [土]・27 [日]

行動しよう
未来のために。



- 地区大会 前日 10/25 [金] ■和木ゴルフ倶楽部
◎記念ゴルフ大会
- 地区大会 1日目 10/26 [土] ■岩国国際観光ホテル
◎大会委員会 ◎会長・幹事会
◎基調講演 ◎RI会長代理歓迎晩餐会
- 地区大会 2日目 10/27 [日] ■大会 / シンフォニア岩国 ■懇親会 / 岩国国際観光ホテル
◎本会議
◎記念講演：吉藤オリイ氏(予定)
(株)オリイ研究所 所長



国際ロータリー第2710地区 2024-25年度ガバナー 上田文雄

- ホストクラブ 岩国ロータリークラブ
- コホストクラブ ■岩国西ロータリークラブ ■岩国中央ロータリークラブ ■柳井ロータリークラブ ■柳井西ロータリークラブ

